



## 「B」から「A」へ

北区支部 中島公博

私は、単科の精神科病院に勤務しております。精神科医の最大の学会は、日本精神神経学会ですが、その機関誌である精神神経学雑誌2021年第123巻第1号が発行されました。このなかで「精神神経学雑誌を1999年以来22年ぶりに衣替えいたしました。誌面を従来よりも一回り大きいA4変型判とし、表紙は和柄を基調としています。色調はこれまでの表紙を踏襲して翡翠色とし、そこに金色を加えています」とありました。

最近では、色々な医学雑誌、学会誌でA4版への移行が進められています。北海道医報は2006年、札医通信は2017年に変更になっています。五稜会病院の診療録は、2009年にB5版からA4版に移行、2013年には紙カルテも併用しつつ電子カルテを導入しています。個人的には、B5版の方が嵩ばらないし、視野に一収まりできて見やすいので好きなのですが、時流に合わせなくてはなりません。でも、週刊誌までA4版になったら読みづらいですね。A4判への移行がどうして多くなったのか気になったので、A版、B版をネットで調べてみました。

A判は、19世紀末ドイツの物理学者オズワルドによって提案されたドイツの規格で、面積が1平方メートルの「ルート長方形」をA0とし、現在では国際規格サイズになっている。A4サイズは、210×297mm。「ルート長方形」とは、縦横比率が「白銀比」と呼ばれる「縦：横 = 1 :  $\sqrt{2}$ 」で、線分比  $a : b$  が「白銀比」であるとは、 $(b - 2a) : a = a : b$  が成り立つことを意味する。大学受験の時には数学は得意科目でしたが、今ではさっぱり分かりませんが・・・。「白銀比」は、大きさは違っても縦横の比率は同じ相似の長方形に分割

でき、どこまで半分にしても同じ形、相似形の長方形になる。どんな大きさを作るとしても裁断にロスが出ないといった利点がある。この形は、古来より美しい比の形として好まれてきたのだそうです。

一方B判は、日本で江戸時代に使われていた「美濃判」の寸法がもととなってできた日本独自の規格。こちらは、面積が1.5平方メートルの「ルート長方形」をB0とした国内規格サイズ。B5サイズは、B0を5回半分に折ったもので182×257mm。また、400字詰め原稿用紙のサイズがB4で、それを半分にするとノートや週刊誌などの大きさのB5サイズになる。このB版も縦横比率が「白銀比」になっているのです。A判は国際規格、B判は日本工業規格、日本の公文書は伝統的なB判が長く使われてきたが、日本もグローバル化で、1990年代に国際規格であるA判へ移行され、現在ではA判が主流となっています。

ここで不思議ですが、昔の日本人もすごい発想をしていたというか、19世紀のドイツと江戸時代で、お互いの情報交換があったとは思えない中で、「ルート長方形」「白銀比」という概念が同じように用いられていることには驚かされます。ドイツや日本以外の国でも、このような考えがあったのでしょうか。興味が沸きます。

学会誌や医学雑誌のB版からA版への変更は致し方ないにしても、普段の生活で困ることがあります。私の書斎の本棚です。棚の高さは自由に変えられるのですが、今まではB5版の学会誌や医学雑誌が多かったので、それように整理していました。でも、A4版の雑誌が多くなると、本棚の高さを変えなくてはなりません。A4サイズを2

段作ると、もう1段はA5サイズとなり、B5版の雑誌を入れることができません。「白銀比」のような見た目にも綺麗な外観にはならないのです。

私は小学生の頃、ジャポニカのような百科事典の全集をもっている同級生を羨ましく思っていました。今では調べたいことがあれば、インターネ

ットですぐに検索できるのでから便利な世の中になったものです。コロナ禍の中で溜まった雑誌を整理する時に思ったことを書きました。同じような思いをしている読者の先生方と共有できたらと思います。

(五稜会病院)

お知らせ

札幌市医師会から

夜間急病センター当直医の募集について

夜間急病センターは会員各位のご協力をいただき、夜間の診療体制を維持しておりますが、現在、ご協力いただける医師が不足しております。

下記の募集内容及び勤務形態にて、医師を募集しておりますので、一人でも多くの先生方に何回でも結構ですので、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

募集内容及び勤務形態

●専任医員

勤務時間	深夜：午後11時45分～翌午前7時30分 準夜：午後7時00分～翌午前0時15分
診療条件等	※基本的には深夜当直 状況により準夜当直有
診療科	内科及び小児科（両科診療が可能な方）
その他	1年更新 自院他院との兼務可

●準夜協力医

勤務時間	午後7時00分～翌午前0時15分
診療科	内科又は小児科

●深夜協力医

勤務時間	午後11時45分～翌午前7時30分
診療科	内科及び小児科（両科診療が可能な方）

- ※ 報酬額については事業三課にお問い合わせ下さい。
- ※ 当直医の往復タクシー代（交通費）は夜間急病センターでチケットを交付いたします。白衣・ステートもご用意しております。
- ※ 急病センターでは先生が当直されるにあたり交通傷害保険、医師賠償責任保険、施設賠償保険に加入しております。
- ※ ご不明な点等がございましたら、事業三課 関戸までご連絡をお願いいたします。  
TEL：641-4316 FAX：615-8604 メール：i-sekito@spmed.or.jp